

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高森町			代表者名	草村大成
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策推進課DX推進係	連絡先電話番号	0967-62-2913
担当者役職	参事	担当者氏名	飯干 貴子	連絡先E-mail	
住所	869-1602 熊本県高森町高森2168番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	DX推進プロジェクト
概要	DX推進係が新設され、本町がDXを推進するにあたり職員の意識がまだ自治体DX推進手順書でいうところのステップ0：DXの認識共有、機運醸成ができていない状況であることが課題である。庁舎内の人材育成を目標とし、同時にDX推進計画策定を目指した支援をお願いしたい		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	212	令和6年11月8日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月17日	講演(実地)	10時30分	15時00分	
			活動時間（分）	270	
2-2. 派遣場所	会場名	高森町役場	最寄駅	高森駅	
	所在地	熊本県高森町高森2168番地	最寄駅からの交通手段	タクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	全職員に向けて行政のDXについてという題で講演を行っていただいた。午前・午後の一時間ずつの講演時間であったが、わかりやすい内容でDXに対して職員の理解が深まりました。言葉に惑わされることなく「デジタル化を行って業務改革を行う」ということは何であるか、「DXに取り組みない努力を行わない」などDXを推進する内容で今後の取組に対して職員の意識も変化したと感じました。
アドバイザーへの要望事項	全職員に向けてDXについて講演会を依頼した。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	55人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	55			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、一部の職員がデジタル図書館や書かない窓口などのDX・デジタル化の取り組みを行っている。今後全庁でDXを推進を行っていく事とし、様々な庁内・町民向け事業についても検討が始まっている。しかし、主導となるDX推進係では情報収集力や知識が足りない状態である事、DXについて職員の意思統一ができていない現状を打開するため今回アドバイザー派遣を依頼した。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	講演会を行い、全庁で意思統一を図り庁内のDX推進を進めていく。今後は職員各自で自分の業務・課内の業務についてDXできるかを検討し、申請書の電子申請やデジタル技術を活用した子育て支援なども含め様々な分野で取り組みを行える様意識改革を目指す。また、今後庁内だけでなく町民に向けてデジタル化の恩恵を実感できる仕組みの実現を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	全職員に向けて1時間の講演会を2回(午前1回・午後1回)行っていただいた。「行政のDXを推進するには?」という題で、デジタル化とはどういうことなのか・DXを進めるために必要な事とはという内容であった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	全職員に向けて講演を行っていただき、職員の意識改革として、今後のDX推進について難しい言葉に惑わされず、できることからデジタルを使った業務改善を行うことで良いと講演され今後の取組について職員の意識向上ができたと考えます。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	講演会(参加者55名)業務により参加できなかった職員に対しては映像での研修を実施 講演内容「行政のDXを推進するには?」	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今年度DX推進計画を策定する予定であり、今後DX推進計画についても策定に向けて助言を頂く。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演内容について理解できたとの回答が多く、今後のDX推進に向けて全庁的な意思統一がある程度進めることができた。アンケートについてまだ映像での講習を受けていない職員もいるので最終的な分析はできていない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	各課独自で行っているDX事業について情報共有を行う。また職員の意思統一・意識改革に向けて今後研修勉強会などを行う予定であるがまだ未定である	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各職員がDXについて意識をして業務に係り、効率的・効果的な業務に取り組むことで、町民がデジタル化の恩恵を実感できる	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

